

◆ 主 題 名
(生徒に提示するもの)

それでも、前に進む！

内容項目	見出し	教材名
A - 4	希望と勇気、克己と強い意志	「銀メダルから得たもの」
価値項目		
1・2・3・4 希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる。		
本時のねらい		
・希望や勇気を持ち続け、困難や挫折を乗り越えられる柔軟な心構えをもつ。		

主題発問に向かうための導入・場面発問

導 入	発問	吉田沙保里ってどんな人？オリンピックにかける吉田さんの思いと負けた時の思い
	補助発問	多くの人からの期待、4連覇を目指す気持ちがあった中での、敗北をどう思ったか。
場 面 ①	発問	吉田さんが挫折を乗り越えて、再びレスリングに向き合うようになったきっかけは何か。
	補助発問	道場の子どもたちのどんな姿を見てスイッチが切り替わったのか。
場 面 ②	発問	銀メダルから得た多くのものとは何だろうか。
	補助発問	吉田さんの、レスリングや勝つことに対する「気持ち」の変化からも考えてみよう。
場 面 ③	発問	
	補助発問	

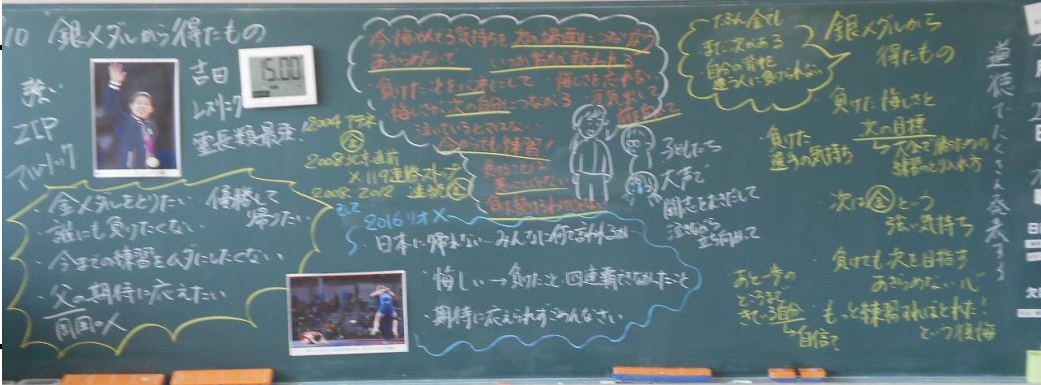
◆ 主 題 発 問

試合に負けて泣いている教え子に、吉田コーチはどんな言葉をかけるのだろう。

◆ 学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ (ペア ・ グループ ・ フリー) ⇨ 個			

留意点等

中心発問は、学び合い活動のあと、役割演技を取り入れて発表した。クラス中の生徒が泣いている子供を演じ、発表者が吉田コーチの励まし



授業後の振り返り

吉田選手の知名度が高く、生徒は積極的に活動できたように思う。吉田選手の「銀メダルでよかった」という言葉について考えた時、生徒の一人が「言いたいことはわかるけど、正直自分は絶対銀で良かったとは言えない」という生徒がいたことがおもしろかった。授業の中で、以前より本音が出てくるようになったと思う。授業者の先生が、「この人は、金メダルを取ったら満足したかな？」とたずねたところ、「満足しない」という意見が多く、「自分の背中を超えられないように努力する」「次のメダルに向けてまたスタート」などの意見が出た。この補助質問は、「困難や挫折を乗り越えて」というねらいには沿わないのでは？という反省に至った。